

HATSU.U/ HO.U

鉢盂

Version du 27/01/2013

Voici une version de *Hatsu.u* (Le bol à aumônes) en japonais. Il contient de nombreux caractères anciens (certains existent aussi dans une graphie simplifiée).

Les numéros correspondent aux paragraphes de la traduction de Yoko Orimo que vous trouvez sur le blog <http://www.shobogenzo.eu>.

Christiane Marmèche

1. 七佛向上より七佛に正傳し、七佛裏より七佛に正傳し、渾七佛より渾七佛に正傳し、七佛より二十八代正傳しきたり、第二十八代の祖師、菩提達磨高祖、みづから祖丹國にいりて、二祖大祖正宗普覺大師に正傳し、六代つたはれて曹谿にいたる。東西都盧五十一代、すなはち正法眼藏涅槃妙心なり、袈裟、鉢盂なり。ともに先佛は先佛の正傳を保任せり。かくのごとくして佛佛祖祖正傳せり。

2. しかあるに佛祖を參學する皮肉骨髓、拳頭眼睛、おのおの道取あり。いはゆる、あるいは鉢盂はこれ佛祖の身心なりと參學するあり、あるいは鉢盂はこれ佛祖の飯椀なりと參

學するあり、あるいは鉢盂はこれ佛祖の眼睛なりと參學するあり、あるいは鉢盂はこれ佛祖の光明なりと參學するあり、あるいは鉢盂はこれ佛祖の眞實體なりと參學するあり、あるいは鉢盂はこれ佛祖の正法眼藏涅槃妙心なりと參學するあり、あるいは鉢盂はこれ佛祖の轉身處なりと參學するあり、あるいは鉢盂はこれ佛祖の縁底なりと參學するあり。かくのごとくのとものがらの參學の宗旨、おのおの道得の處分ありといへども、さらに向上の參學あり。

3. 先師天童古佛、大宋寶慶元年、住天童日、上堂云、記得、僧問百丈、如何是奇特事。百丈云、獨坐大雄峰。大衆不得動著、且教坐殺者漢。今日忽有人問淨上座、如何是奇特事。只向他道、有甚奇特。畢竟如何、淨慈鉢盂、移過天童喫飯。

4. しるべし、奇特事はまさに奇特人のためにすべし。奇特事には奇特の調度をもちゐるべきなり。これすなはち奇特の時節なり。しか

あればすなはち、奇特事の現成せるところ、奇特鉢盂なり。これをもて四天王をして護持せしめ、諸龍王をして擁護せしむる、佛道の玄軌なり。このゆゑに佛祖に奉獻し、佛祖より附囑せらる。

5. 佛祖の堂奥に參學せざるともがらはいはく、佛袈裟は、絹なり、布なり、化絲のをりなせるところなりといふ。佛鉢盂は、石なり、瓦なり、鐵なりといふ。かくのごとくいふは、未具參學眼のゆゑなり。

佛袈裟は佛袈裟なり、さらに絹、布の見あるべからず。絹布等の見は舊見なり。佛鉢盂は佛鉢盂なり、さらに石瓦といふべからず、鐵木といふべからず。

6. おほよそ佛鉢盂は、これ造作にあらず、生滅にあらず。去來せず、得失なし。新舊にわたらず、古今にかかはれず。佛祖の衣盂は、たとひ雲水を採集して現成せしむとも、雲水の籬籠にあらず。たとひ草木を採集して現成せしむとも、草木の籬籠にあらず。

7. その宗旨は、水は衆法を合成して水なり、雲は衆法を合成して雲なり。雲を合成して雲なり、水を合成して水なり。鉢盂は但以衆法、合成鉢盂なり。但以鉢盂、合成衆法なり。但以渾心、合成鉢盂なり。但以虚空、合成鉢盂なり。但以鉢盂、合成鉢盂なり。鉢盂は鉢盂に罣礙せられ、鉢盂に染汚せらる。

8. いま雲水の傳持せる鉢盂、すなはち四天王奉獻の鉢盂なり。鉢盂もし四天王奉獻せざれば現前せず。いま諸方に傳佛正法眼藏の佛祖の正傳せる鉢盂、これ透脱古今底の鉢盂なり。しかあれば、いまこの鉢盂は、鐵漢の舊見を覷破せり、木櫪の商量に拘牽せられず、瓦礫の聲色を超越せり。石玉の活計を罣礙せざるなり。碌埶といふことなかれ、木櫪といふことなかれ。かくのごとく承當しきたれり。

正法眼藏鉢盂第七十一

爾時寛元三年乙巳三月十二日在越宇大
佛精舍示衆

寛乙巳七月廿七日在大佛寺侍司書寫懷辨